

DV啓発カルタ カウンセラーが製作

意地悪もここまでやれたら 才能です

「意地悪もここまでやれたら才能です」
ドメスティックバイオレンス(DV)の実態を広く知ってもらおうと、加害者の更生プログラムを実施しているメンタルサービスセンター(豊島区)の草柳和之代表(47)が、DVを題材にしたカルタを製作した。草柳さんは「過酷なDVの被害をカルタを通じて知っ

てもらいたい」と話している。
同センターは1990年設立。草柳さんはカウンセラーとして長年、DV被害者の支援に携わるとともに、加害者のためのワークショップや自助グループを開催している。DV根絶を願うピアノ曲を講演会で演奏するなど、DVを減らすための活動にも取り組んできた。

「DVを多くの人に分かりやすく伝えるためにはどうしたらいいか」。草柳さんは4年前、カルタという手法を思いついた。「憎まれ夫、それでも世間は守ってる」「暴力は離婚の始まり」「我慢の切れ目は縁の切れ目」。被害者、加害者へのカウンセリングを通じて実感したことを言葉のリズムを意識して読み札にした。草柳さんは「被害者には自分の気持ちを整理するため、加害者



考案した「DVカルタ」を手にする草柳さん(豊島区で)

には自分の行動を見つめ直すために活用してもらいたい」と話す。

カルタの製品化は発売元の会社が見つからず、都の助成金などに申請しても通らなかつたため、4年間滞って

ゆず果汁
かぼす他茶液
かぼす・柚子調味液
(0088)
21-1155

いた。昨年11月にデザインナーの後藤愛子さんと出会って話が進み、結局、草柳さん自ら100万円以上を負担、今年3月に完成した。絵札には猫のキャラク

ターを使い、DV被害の悲惨さをユーモアに包んで紹介している。

カルタは1260円(送料350円)。メンタルサービスセンター(03・3993・6147)は、カルタの趣旨に賛同してくれる人からのカンパを募集している。【戸上文恵】